

道心

DO-SHIN

VOL.

15

2008
SEP.

比叡山高等学校同窓会誌



私が驚いたのは、食べ終わった後に、お茶を全ての器に順番に流し、沢庵でさらえるという事です。器には、全く何も残らず、最後の一粒まで感謝をして頂くためです。私は食べ終わるのが最後だったので沢庵の音を立てずに食べる事に苦労しました。音を立てると、お坊さんに「音を立てるな」と注意されるのです。

翌日、朝起きると一番に掃除をしました。身の周りを常に綺麗にする事の大切さを知りました。掃除をして綺麗になると、心も洗われました。

次に、書道の出来る部屋へ行き、写経をしました。字を書く事は好きだったので何も考えず、字をひたすら書くという事を楽しめました。お坊さんの修行の中には、写経といったこともあるのだと知りました。

このように、居士林での修行を通して日頃の生活の中では忘れてしまっている感謝の気持ちを思い出す事ができました。この貴重な経験をした事を今思返すと、改めて学んだ事の大切さに気づきました。感謝の心や、物を大切にする事、身のまわりを清潔にする事で、自然と自分自身の身につくのだと思います。

高校三年生の時に参加した居士林について、当時は、行事の意味など考えずに参加していました。

居士林とは、一般向けの研修道場で「居士」とは、戒名に使う言葉で在家得度していない人の事をさし、「林」は、その字の通り木々と言う意味で、昔、僧侶が山中に籠もり团体で修行をしていたなごりで、林という文字を使っているそうです。

居士林では、一泊二日の短い時間でしたが、色々な経験をしました。先輩から、お坊さんは厳しいと聞いていたので、覚悟して参加しました。

まず、座禅の時間は、少しでも動いたらしく警策と称する櫛の棒で背中を正されます。でも、正しい姿勢で何も考えずに無になる事で普段の生活を見つめる事ができました。夕食の時間は、普段家で食べる食事とは全く違いました。それは、食べる前に手を合わせてから、食物が食卓に届くまでに携わった人々や自然への感謝の気持ちを唱えました。その気持ちは、保育士になった今でも子供たちに伝えています。食べるときは、話をせずに静かに落ち着いて食べ物を味わって頂きました。

居士林研修の思い出

一里山
ひかり保育園勤務 木村加奈恵

なつかしの
風景2

校舎から
琵琶湖を望む
昭和35年頃



ご挨拶

比叡山高等学校同窓会会員皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は同窓会活動のみならず、我校に想いを頂き、格別のご支援・ご協力を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。

私も卒業以来50年近くなりましたが、最近の母校は随分変化があり、想像も出来ない進歩があるように見聞きしております。

まず、在校生の多くが進学を志望され、国立を初め有名私学に進学される傾向になると伺つており、社会で活躍されている姿に続く後輩の良き励みとなつてていると思いま

就任にあたつてご挨拶

延暦寺学園の同窓生各位におかれましては、日々ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。さて、私儀、平成14年に比叡山中学・高校副校長を拝命以来6年間に渡り、関係各位のご芳情により、なんとかその重責を果たすことができましたことに、まず感謝を申し上げたく思つております。また、更に本年4月からは、前任西村勝晴校長の後を受け、この伝統ある本校の校長の席を預かることとなりましたことをご報告申し上げますとともに、この場をおかりして一言ご挨拶を申し上げます。

さて、今日の世情を観るに、繰り返し報道されている殺人や傷害などの暴力をはじめ、弱者を狙つたオレオレ詐欺による卑劣な犯罪行為は、人の生きる道を踏みはずしていると

しか、言いようがなく、憤りを隠せません。このような現状に至つた原因は、いかにもあるのか、世の中の軸足が見失われているからではないかと思うのであります。まず、生活の足元を見直す必要を痛感いたしております。そのような中で、本学園は、「掃除」「挨拶」「学問」を学校目標とし、朝礼や比叡山三塔巡拝、居士林研修など、本校ならではの活動を通じて、現代社会の一員として必要とされる人材の育成を心がけ、伝統を重んじながら、公立学校にはない教育の実践に今後も努めて参りたいと思つております。

また、この冊子の主題にも掲げられております「道心」とは、「国宝とは何者ぞ、宝とは道心なり、道心ある人を名づけて国宝と為す」※ と人材育成の要を端的に、そして世の中にとって何が一番大事なものであるかを提言された宗祖伝教大師の一文です。今

でも常識で判断が出来ない事件事故が続出し、社会全体を震撼させています。

世の中全体が解放的になり、自由が蔓延すればする程、高齢者を敬い、幼子を慈しみ、弱者を労わると云つた他者を思いやる心が必要であると思います。共に3年間伝教大師の教訓を学んだ同窓生各位には、人の為に尽くし社会で役立つていただく人になつてくれることを期待しています。

「能く行い能く言う」「己を忘れて他を利す」を常に胸に秘め、就職をしても進学をしてもらいたいと思う一人でもあります。

昨今の社会状況を見るにつけ、聞くにつけても常識で判断が出来ない事件事故が続出し、社会全体を震撼させています。

私も平成16年1月から第22代大津市長として2期目を勤めさせていただいております。常に伝教大師の教訓を念頭に執務に専念し、333千人の市民の先頭に立つて諸課題解決に頑張っています。県都に相応しい大津市に成長するよう同窓会諸兄のご支援・ご協力をお願いします。

結びになりましたが、今後同窓会が益々発展し会員皆様方のご健勝・ご多幸、更なるご活躍を祈念申し上げご挨拶といたします。

(昭和35年卒業)

比叡山高等学校同窓会
会長 目片 信



比叡山中学・高等学校
校長 上野良明



なつかしの 三塔巡拝

三塔巡拝



三塔巡拝の思い出

大津市役所勤務 橋本 光太郎

間柴擁する比叡山高校が、初の甲子園に沸いた選抜大会の昭和44年春に入学。入学式前に生徒として応援に来ないかとのお誘いで応援に行つた。思えば、試合途中比叡山の苦戦に応援スタンドからジュース缶が投げ込まれたとき、色々お話をしていた隣のお坊様が、「だめだめだやめろ」と必死に手で制していたのを覚えている。あとで梅山圓了校長先生であつたのを気付かなかつた恥ずかしさを懐かしく思う。

比叡山高校に入学して驚いたことは、勉強嫌いで公立を受ければ楽に入れてのんびり過ごすはずの高校が、毎日7時間授業であったこと。終業が四時十分で、冬にもなると帰りは真っ暗だった。

こんななかでも、一年生は遠足もあつたり夏休みが長かつたりして、息抜きがありました。不心得ですが三塔巡拝も息抜きの一つであったかも。一年生は遅く出発し、ケーブルで登つて根本中堂・大講堂・阿弥陀堂・淨土院・釈迦堂から戻つて本坂下りだつたと思う。一年生は初心者との理由と上級生からの隔離であったと思う。(このことは、全学年クラス対抗球技大会で思い知らされることがある。訳は秘密。)二年生から

比叡山高等学校には60年近くつづく恒例行事がある。比叡山延暦寺の東塔・西塔・横川を参拝し登山する三塔巡拝である。伝教大師最澄の「精神に触れる」ことを目的とし、生徒の心の教育をはかる伝統ある行事である。

三塔巡拝は昭和25年頃、学制改革の時代から始められた。昭和の50年頃までは制服、制帽で参拝登山し、また当時は東

塔・西塔・横川を1日で巡ることもあった。今では1年生は東塔へ、2年生は東塔・西塔へ、3年生は横川へ、それぞれに分かれ参拝している。

今回、卒業年代の違うお二方に三塔巡拝の思い出を振り返っていただきました。今も昔も比叡山高等学校の卒業生にとっては思い出深い行事となっています。

三塔巡拝で得たもの

橋大学在学中 平井 紗乃

私にとって比叡山高校の三塔巡拝という行事は、憂鬱なものでしかありませんでした。暑い中、どうしてこんな山を登らなければならぬのか、と思いながら登っていたものです。一年生のときは、これがまだ後二年あるのか。三年生のときは、ああ、やつと終わつた。と、嫌なものとしか考えていませんでした。しかし、卒業した今、改めて三塔巡拝で比叡山を登つたことを思い出すと、良いことしか思い出さないです。友達と励まし合いながら登つたことや、登りきつたときの達成感。般若心経を唱えれば、心がやすまつたこと。なによりも、三塔巡拝に臨んで一番良かったと思うことは、忍耐力と体力がついたことです。高校時代、ソフトテニスに励んでいた私にとって、忍耐力と体力はなくてはならないものでした。ソフトテニスだけでは

なく、あらゆるスポーツや勉強などにも必要なものを得ることができます。三塔巡拝という行事がなかつたら、あんなに険しい山を登る体験なんて滅多にないでしょう。三塔巡拝中のしんどさは、後には「しんどかつた、大変だった」と言葉でしか残りません。しかし得たことは、一生残り続けます。古い歴史を持つ比叡山高校独特のこの行事は、とても良いものだと思うし、これからもずっと続いてほしいと思っています。

(昭和47年卒業)

三塔巡拝コース



(平成18年卒業)

卒業生からのメッセージ



「現役卒業」に想う
恩師の教え
株式会社しがん経済文化センター
取締役社長 伊藤庄蔵

この夏、世界のスポーツの祭典、オリンピックが北京で開催されました。私が比叡山高校を卒業、そして社会人としてスタートしたのは、昭和39年「東京オリンピック」の年でした。地元の金融機関に就職して以来43年余り、金融マンとして走り続けて昨年、現役を卒業いたしました。当時は「名神高速道路」「新幹線」の開通など、日本が近代化に向けて大きく飛躍した年でした。その後、オリンピックの反動はあつたものの、戦後の昭和史に残るあの「いざなぎ景気」となり、57ヶ月間の長期間にわたり景気は拡大しました。鉄鋼や石油化学など幅広い業種で設備投資が活発に行われ、所得も順調に増えて消費が活発化し、家庭に「3C」（カラーテレビ、クーラー、自動車）が浸透していく時代でした。いま、北京オリンピックを観てみると、ハイテク技術や規模は違いますが、当時の日本と今の中国をダラさせてみてしまい、当時を懐かしく思ひだします。

私たち39年卒業生は、日本の大きな節目、第二次世界大戦の終戦の年に生まれました。したがって、クラスメートは3クラスと一番少ない時でした。縁あって当時、

一番厳しいといわれた（故）和田穎一先生が3年間持ち上がりで担任、ご指導をいただきました。何時も事あるごとに『こんな出来の悪いクラス、はじめてや！』と叱咤激励され、職員室へ呼び出された時は『往復ビンタ』はあたりまえでした。平成5年に、卒業して30年、有志が集まり初めての全員の同窓会が開催され、クラスメートが全国から駆けつけてくれました。和田穎一先生ご夫妻をお招きしてのご挨拶で、「あの出来の悪い皆がこんなに立派になつてくれて…」後は言葉にならず、涙の再会でした。当時も今も

「39年卒業生2組」は先生の教員生活の中で、一番愛してくださったクラスだと思います。今は、早くして他界されたため、先生を囲むことができなくなつたことが寂しく、残念でなりません。

さて、私たちの年代は終戦前後に生を受け、戦後の復興経済、そして高度成長経済から今の成熟経済の中で人生を過ごしてきました。それぞの立場で、いわゆる「企業（事業）戦士」として頑張つてきました。しかし、これから日本をみたとき、大きな構造変化の中でどう生きていくかを考えると、困難な時代に入つたといわざるをえません。国、地方を含む財政問題をはじめ、少子・高齢社会の到来、地球温暖化問題、更にグローバル経済、教育・福祉問題等々、まさに『海図なき航海』を余儀なくされると思われます。また、最近の日本や地域社会をみたと

（昭和39年卒業）

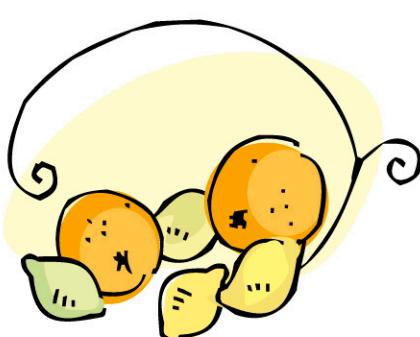


比叡山高校を卒業して今、想う事
中西普嗣
株式会社ケーワム商事勤務

私が比叡山高校を卒業して、早いもので22年もの月日が経ちました。未だ幼い野球少年だった中学生の私は、テレビで比叡山高校の甲子園での活躍を観て、「絶対にこの高校へ行って甲子園に出たい。」と思い志望し、無事入学する事ができました。その時の嬉しさは何物にも替えがたいものがあります。それぐらい充実した気持ちでいても野球部の練習や規律は、想像を遥かに超える厳しさで、何十回、いや何百回と辞めたいと思いま

るしかない。」と言い聞かせて3年間続けることができました。
結局甲子園には自分達の年には行けませんでしたが、素晴らしい仲間と共に過ごした3年間を誇りに思います。そして学校生活での掃除の大切さに学ぶ、他人の嫌がることを率先して出来る人間になりました。和田穎一先生をはじめ多くの恩師から我々が学んだ「照子一隅」「能行能言」「忘己利他」の教えを、それぞれ地道に一人ひとりが原点に立ち返り、生意気なようですが「世の中、人のため」「小さくてもできることからまず、一步を踏み出す時ではないか」と想う今日この頃です。

（昭和61年卒業）



『伝教大師最澄』について

●シリーズ一 「幼少期～青年期」

本年度より「伝教大師」の歴史や概要について数回に亘って紹介することになりました。

ときに「伝教大師」と言う方は称号であります。命名についても最澄の歴史の中で意味をもつ「名前」であります。その由来については、後に説明して行くことにしましょう。

最澄の幼名を「広野」と言います。ときは神護景雲元年(西暦七六七年)、父は「三津首百枝(みつのおびとももえ)、母は藤子(とうし)」と言います。現在の大津市坂本の地に誕生されました。誕生された場所についても異説があるようです。

「三津」というのは現在の雄琴よりやや南方の浜を「今津」、下阪本の中央部あたりを「戸津」、唐崎あたりまでを「志津」といっていたようです。総称して「三津ヶ浜」また「三津浜」と呼んでいます。下阪本少年団の名称は、この歴史からつけられたようです。

最澄の父は、この地域の役人をしていたことから「三津の首(おびと)」と呼んでいたのでしょう。

さて、現在も天台座主への登竜門として受け継がれている伝統行事「戸津説法」は、毎年八月二十一日から二十五日に、下阪本の東南寺にて行われています。この「戸津」も、その地名の名ごりであります。

話はもどろく、父三津首百枝の先祖は中国からの渡来人でした。当時よりさかのぼること四百五十年以前のことです。その子孫で聰明で信仰心の深い両親の元で健やかに育つた広野は知的能力も高く、後に師匠となる行表(ぎょうひょう)にも知られていました。

そのような事から広野は十二歳の時、近江の国分寺(現在の晴嵐小学校の敷地に国分寺跡地とし碑が現存しています)へ行くことになります。そして修行の生活が始まるのです。

修行生活の中で広野に思いがけない事が起こります。それは、「僧侶「最寂の死」」であります。当時は、財政的な理由で僧侶の数が決められていたため試験は十五歳以上でなければ受験資格がありませんでしたが、受験資格のない広野を受験させたのが師・行表であります。

ところが広野は、年齢は充たなくとも見事に合格しました。そこで「最寂」の「最」の字をあて「最澄」と改名し、奈良での修行が始まることとなります。

当時の奈良での修行者は、一人前の僧侶、比丘(ビク)ではなく、沙彌(シャミ)として勉学と厳しい戒律(沙彌の十戒)を遵守した生活をしていました。それは、【不邪淫戒】【不飲酒戒】【不塗飾香髪戒】【不歌無観聽戒】【不座高広大牀戒】【不蓄金銀宝戒】【不非時食戒】であります。(文献によつては言葉や文字が異なることもあります)

教学の内容は「南都六宗」(りくしゅう)のすべての内容を学ぶことにありました。六宗とは、「三論宗・俱舍宗・法相宗・成実宗・律宗・華嚴宗」とあり、そのあらゆる教学を偏りなく学習していました。最澄はその勉学の中「大乗起信論」の注釈のところに『天台を指南する』という言葉を見つけたのです。

このことが「最澄」を大きく動した(天台の事を知りたい)要因であるように思われます。

十九歳で奈良東大寺にて具足戒(男性二百五十戒・将来はこの小乘戒にも改革をすべく努力してゆくことになる)を受戒し比丘僧となられたのです。

次回...奈良から比叡山へ教職員OB

比叡山高校 からの お知らせ

同窓会員の皆様へご注意ください

最近、本校の事務局をかたり、携帯電話番号や住所などの個人情報をおたずねる電話がかかっているようです。本校では、そのような調査は一切しておりませんので、ご注意ください。

同窓会の個人情報保護対策について

同窓会でお預かりする個人情報は、個人情報の保護に関する日本の法令、その他の規範を厳守して以下の目的の範囲でのみ利用いたします。

◆利用の目的について

- ① 同窓会誌「道心」の発送
- ② 同窓会活動等のご案内
- ③ その他 同窓会の活性化を図るため、必要と思われる作業等合法的な目的のために活用する。

◆個人情報は原則として本人に限り、開示・訂正・利用停止を求めることがあります。

*今回の本誌「道心15号」はヤマト運輸㈱にてメール便で皆様に発送させていただきました。

退職者のお知らせ

(平成20年3月)敬称略



井門 寛(保健体育科)
昭和45年4月から勤務



西村勝晴(学校長)
平成14年4月から勤務



植田麻紀子(保健体育科)
平成19年4月から勤務



桂康隆(地歴公民科)
平成18年4月から勤務



松本和男(数学科)
平成16年4月から勤務



藤井由香(情報科)
平成19年4月から勤務

北川健一(理科)
平成19年4月から勤務

塚本達也(地歴公民科)
平成19年4月から勤務

DATA

過去3年間の進路実績

私立大 合計	その他	神戸医 科大	大阪医 科大	関西外 国語大	甲南大	近畿大	佛教大	京都薬 科大	京都女子 大	同志社 女子大	京都外 国語大	龍谷大	京都産 業大	南山大	駒澤大	日本大	明治大	立教大	東京女 子大	順天堂 大	上智大	早稻田 大	関西大 学院大	立命館 大	同志社 大	私立大 学	
582	227	1	3	6	1	17	22	1	6	8	8	71	56	1	2	1	1	1	1	2	147	25	8	93	21	20平 年度	
488	274	1	1	1	3	1	9	22	8	6	2	35	24	1	1	4	1			1	3	90	26	6	52	6	19平 年度
469	209	1	1	1	5	1	23	16	3	3	3	48	38	1	1	4	1	2	1	1	1	105	34	6	48	17	18平 年度

国公立・私大ともに大きく伸張する合格実績

はばたけ比叡山高校卒業生 — 進路状況データ

財務諸表の公開

私立学校法の改正により、財務情報の公開が必要となりました。つきましては、本学園の資金収支計算書ならびに貸借対照表を公開いたします。

資金収支計算書の要旨(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	808,056	人件費支出	1,282,105
手数料収入	32,205	教育研究経費支出	109,581
寄付金収入	29,245	管理経費支出	96,575
補助金収入	520,480	借入金等利息支出	0
資産運用収入	6,781	借入金等返済支出	0
資産売却収入	100,136	施設関係支出	2,692
事業収入	21,272	設備関係支出	4,484
雑収入	65,432	資産運用支出	167
借入金等収入	0	その他の支出	661,715
前受金収入	91,050	資金支出調整勘定	▲18,654
その他の収入	920,914	次年度繰越支払資金	442,917
資金収入調整勘定	▲183,491		
前年度繰越支払資金	169,502		
収入の部合計	2,581,582	支出の部合計	2,581,582

(単位:千円)

貸借対照表の要旨(平成20年3月31日現在)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	1,864,745	固定負債	92,585
土地	672,668	退職給与引当金	92,585
建物	1,054,331		
構築物	25,895	流動負債	328,285
機器備品	39,047	未払金	18,654
図書	72,804	前受金	91,050
その他固定資産	0	預り金	218,581
		負債の部の合計	420,870
流動資産	648,014	基本金の部	
現金預金	442,917	第1号基本金	2,988,371
未収入金	92,016	第4号基本金	117,250
有価証券	86,003	基本金の部合計	3,105,621
その他	27,078	消費収支差額の部	
		翌年度繰越消費支出超過額	▲1,013,732
資産の部合計	2,512,759	負債・基本金・消費収支差額合計	2,512,759

(単位:千円)

延暦寺学園入試・説明会ご案内

高校コース紹介

平成21年度の中学校・高校の入試、入試説明会の日程が決定しました。同窓会員の皆様のご協力・ご理解、およびPRをお願いいたします。

I類

文系

普段の授業を大切にし基礎学力を確実に身につけ、私立大学文系学部合格を目指します。また、課外活動にも積極的に取り組み、豊かな人間性を育てます。

私立大学文系学部合格を目指します

(英語・国語)を中心とした基礎学力の強化と課外活動への積極的な参加

II類

文系
理系

個人の適性に合わせて希望進路を決定し、その実現を目指します。ただの詰め込みの学習ではなく、「知的関心・好奇心」を育て、「考える力」をつけています。

II類R

文系・理系

II類S

(特進)

文系・理系

II類S一貫

(特進)

文系・理系

難関私立大学への進学を目指します

3教科に重点を置いた学習・国公立大学受験にも対応

国公立大学への進学を目指します

5教科に重点を置いた学習

※1年時のII類R、II類S(特進)の中から、II類S(特進)希望者を対象に選抜試験を実施し、2年生以降のII類S(特進)を再編成します。

国公立大学への進学を目指します

5教科に重点を置いた学習

※比叡山中学生のみで編成されます。

III類

(理数コース)
理系

難関国公立大学理系学部への現役合格を目指します。
単なる理数のエリート育成ではなく、一隅を照らす「心」を持つ将来の科学者・技術者の育成をはかります。

難関国公立大学理系学部への現役合格

を目指します

京都大学・大阪大学・神戸大学や国公立大学の医・歯・薬学部など

●比叡山中学校・高等学校入試説明会日程

日時	地区	会場	内容
10月11日(土) 9~12時	中学校	比叡山中学校	オープンスクール
10月25日(土) 10~12時	高校	比叡山高等学校	高校
11月 2日(日) 10~12時	堅田	大津市北部地域文化センター	中・高合同
11月 9日(日) 10~12時	瀬田	瀬田アーバンホテル	高校
11月15日(土) 10~12時	高島	高島地域地場産業振興センター	高校
11月16日(日) 10~12時	山科	ホテルプラザインシティ山科	中・高合同

日時	地区	会場	内容
11月22日(土) 9~12時	中学校	比叡山中学校	中学校
10~12時	高校	比叡山高等学校	高校
11月30日(日) 9~12時	中学校	比叡山中学校	中学校
12月 6日(土) 14時半~16時	中学校	比叡山中学校	中学校
12月13日(土) 9~12時	中学校	比叡山中学校	中学校
12月20日(土) 14~16時	中学校	比叡山中学校	中学校

平成21年度 入学試験に関する資料

●高等学校

1.募集人員

全日制課程普通科(共学) 400名
(内部進学含む)
I類(文系) 160名
II類(R・Sコース)(文・理系) 210名
III類(理数コース)(理系) 30名

2.入学試験の日程

一般入学試験

出願期間 平成21年1月15日(木)~1月21日(水)
正午まで

学科試験 平成21年2月2日(月)

面接試験 平成21年2月2日(月)・2月3日(火)

合格発表 平成21年2月6日(金)

手続締切 平成21年2月10日(火)

優先入学制度(I類)

応募期間 平成20年12月5日(金)~12月11日(木)

予備選考制度(I・II類)

応募期間 平成20年11月28日(金)~12月4日(木)

選考試験 平成20年12月7日(日)

内定通知 平成20年12月17日(水)

3.費用について

入学検定料	20,000円
入学金	150,000円
授業料	330,000円
学費等	施設設備費 96,000円 教育充実費 64,200円
初年度納入金	計 640,200円

●中学校

1.前期日程 平成21年1月18日(日)

募集人員: 90名程度

出願期間: 平成21年1月7日(水)~1月10日(土)

選考方法:

- 自己推薦入試「一隅入試」
作文(400字/30分、課題)
面接(個別/本人・保護者)
- 前期専願入試
「国語」「算数」(各100点/各40分)
面接(グループ/本人)
- 前期併願入試
「国語」「算数」「社会」「理科」
(各100点/各40分)

合格発表: 平成21年1月20日(火)

入学手続き: 平成21年1月20日(火)~21日(水)

2.後期日程 平成21年1月24日(土)

募集人員: 30名程度

出願期間: 平成21年1月7日(水)~1月21日(水)

選考方法:

- 後期専願入試
「国語・算数」「社会・理科」
(各100点/各40分)
- 後期併願入試
「国語・算数」「社会・理科」
(各100点/各40分)

合格発表: 平成21年1月26日(月)

入学手続き: 平成21年1月26日(月)~27日(火)

3.費用について

入学検定料	20,000円
入学金	150,000円
授業料	300,000円
学費等	維持費 96,000円 諸経費 61,800円
初年度納入金	607,800円

編集後記

北京オリンピックは終わりました。しかし、体の健康はまずスポーツからと私自身日々から思っています。今年は地元滋賀県で生涯スポーツの一環として全国スポーツレクリエーション大会が10月に行われますが、私達同窓生も身近な運動から何か始めてみませんか。

前回は、アテネオリンピックの年に同窓会の総会を行いましたが、4年ぶりに今年同窓会総会を11月22日に開催します。総会では初めて有職者の講演を取り入れました。ユーモア溢れた日本の将来について語っていただく予定です。クラス会を開いていただくのも結構、親しい友人を誘うも結構、是非多数のご参加を期待しています。

事務局長 伊藤 成二